

# アイヌ語の概要

文責：横山裕之（北海道エスペラント連盟員）

協力：大野徹人（様似町アイヌ生活相談員・様似町社会教育委員）

アイヌは、2008年に国会で先住民族として認められました。その多くは北海道に在住しています。彼らの固有のことばであるアイヌ語は日本語とは別の言語です。アイヌ語は系統は不明といわれ、従来は文字を使っていませんでしたが、現在では主にカタカナ（一部はアイヌ語音韻用（音節末の子音など）の特殊カタカナ）やローマ字を用いて表記されています。明治時代に入って日本政府は同化政策をとり、学校教育など公的な場面では日本語のみを強要しました。また、一般社会においては、民族差別、蔑視、いじめなどがあり、これらことからアイヌ語が使えない状況に追い込まれ、しだいに使われなくなりました。

しかし、近年、「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」の成立、国連の「先住民族の権利に関する国連宣言」や前述の国会の「アイヌ民族を先住民族として認める国会決議」などによって、アイヌの間に伝統文化の継承の気運が盛り上がっています。

アイヌ語には、祈詞や口承叙事詩や昔話などの伝統文芸があります。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構主催のアイヌ語弁論大会（イタカンロー）には毎年多くの人々が参加し、アイヌ語による弁論や、口承文芸の披露が行われています。また、北海道各地でアイヌ語を学ぶための講座が開かれており、アイヌをはじめとする多くの人々が学んでいます。アイヌが比較的多数暮らしている関東地域でもアイヌ語を学ぶ講座が開催され、アイヌの人たちがアイヌ語を学んでいます。北海道のSTVラジオでは、「アイヌ語ラジオ講座」を放送しています。

その他、「アイヌ語ペンクラブ」という任意団体の活動で、四季折々の話やアイヌ語の文字コードの話など、多種多様な内容がアイヌ語で書かれている「アイヌタイムズ」の出版活動もあります。<sup>1)</sup> 私も関係者で、第11号から第55号まで42の記事を投稿しましたが、その中でプラハ宣言や北海道エスペラント大会などの5つのエスペラントの話も投稿しています。<sup>2)</sup>

1) <http://www.geocities.jp/otarunay/taimuzu.html>

2) <http://www.geocities.jp/aynuitak/>

1997年3月に創刊され、年に3~4回のペースで発行され、2012年7月に第55号が発行されています。ご興味のある方は、是非、「アイヌタイムズ」の購読をお願いします。次号発行時には、日本語訳の号も発行され、辞書や文法書を使えばアイヌ語の勉強にもなります。

最近、読者数も減ってきており、採算ぎりぎりです。購読料と理事の年会費だけで事業を行っていますので、さらに続けていくには購読者の減少を食い止め、新たに購読者を獲得する必要があります。ご興味のある方は、是非購読いただければと思います。また、購読者からの投稿も募集しています。ご購読いただくだけでも大変助かりますが、アイヌ語記事もご投稿いただいて、皆様から是非アイヌ語復権運動を盛り上げていただければと祈念しております。よろしく願いいたします。題材、形式、ページ数などは自由です。「アイヌ語協力」という形で編集部がアイヌ語記事の作成に協力することもできますので、是非お気軽に、かつ積極的にご参加いただければと思います。

連絡先は、〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗（事務局）となっています。私にご連絡いただいても取次ぎます。（私の連絡先：hokkaido\_esp\_ligo@yahoo.co.jp 等）

## 1 音韻

アイヌ語は、北海道方言、カラフト方言、千島方言に大きく分けられます。北海道方言は、i, e, a, o, u の5母音、p, t, k, s, c, m, n, r, w, y, '（声門閉鎖音）、h の12子音があります。音節の構造は、子音+母音（開音節）のほかに、日本語とは異なり、子音+母音+子音（閉音節）と子音で終わる音節もあります。

例：sapa「頭」、sak「～がない」、sat「乾く」、pas「走る」、sam「側」、haw「声」

アクセントは、ヨーロッパの多くの言語のような強弱アクセントではなく、高低アクセントの区別があり、その型は方言によって違いがあり、ある程度の法則性があります。

沙流方言におけるアクセントの例：wákka「水」、setá「犬」、pírka「よい」

## 2 文法

### 2.1 名詞

名詞には、性、数、格による語形の変化はありません。しかし、身体の部位や位置関係を示す名詞には、概念形と所属形の二つの形式があり、人称変化をします。

例：sik（概念形）「目」、ku=siki（所属形）「私の目」

### 2.2 動詞

動詞は、主語、目的語の人称に従って人称変化しますが、現在、過去の区別はありません。また、自動詞と他動詞で異なる人称変化をする場合があります。また、単複の区別のある動詞が多いですが、単複は主語の数でなく、動詞が表す動作、出来事の数で区別します。たとえば、1人が1回切る時は、tuye「切る」（単数）を用い、1人が2回以上切ったり、2人以上が切ったりする時は、tuypa「切る」（複数）を用います。ただし、

数詞で4ぐらいまで主語の数が特定されると、普通、単数形を用います。

- 例： ku=hopuni 「私が起きる」、hopunpa=an 「私たちが起きる」  
(hopuni: 起きる、自動詞; hopunpa: hopuni の複数形)  
k(u)=arpa 「私が行く」、paye=an 「私たちが行く」  
(arpa: 行く、自動詞; paye: arpa の複数形)  
ku=kor 「私が持つ」、a=kor 「私たちが持つ」(kor: 持つ、他動詞)

### 2.3 語の構造

接頭辞、接尾辞の他、合成名詞や抱合によって、長い語となることがあります。

- 例： sir-kunne-tere (あたり・暗い・待つ)「暗くなるのを待つ」  
e-yay-ko-puntek (について・自分・に・喜ぶ)「～を喜ぶ」

### 2.4 文の構造

日本語と語順は似ていますが、日本語のような格助詞である「が(主語)」、「を(直接目的語)」、「に(間接目的語)」はありません。日本語の「は」に似た助詞はありません。

- 例： toan kur nerok kam opitta tooka utar korpape. 「あの人(主語)が肉全部を(直接目的語)あの人達(間接目的語)にあげた。」  
あの人 それらの肉 全部 あの人達 あげた  
tanto anak rataskep tokapipe ne an. 「今日は(主語)ませ煮(直接目的語)が(間接目的語)昼食になる。」  
今日 は まぜ煮 昼食 なる

### 2.5 その他

- アイヌ語には標準語のようなものはなく、方言があり、現在もそれぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。
  - アイヌ語が現在日常会話で使われることはほとんどありません。
  - アイヌ語を母語として習得して流暢に話せる話者は非常に少ないですが、短文や単語を記憶している人がまだ多く、現在の日常生活でも使われることはあります。  
例：イヤイライケレ(ありがとう)、イタカイ(こんにちは)、イランカラテ(こんにちは)、ワッカ エンコレ(水をください)、イコロ イサム(お金がない)
  - アイヌ語を母語としては失った世代がアイヌ語を学習して、アイヌ語を話したり、儀式でアイヌ語の祈り言葉を唱えたり、口承文芸を語ったりすることのできる人が少しずつ現れています。
  - 日本全国の地名をアイヌ語で解説できるという説もありますが、本州や四国・九州までアイヌ語で簡単に解析するのは大きな問題をはらんでいます。少なくとも今まで提出されている説の多くはアイヌ語についての不確かな知識に基づいているものが多く、信頼できるものは少なく、せいぜい東北ぐらいまでしかはっきりしたことは分かりません。やはりアイヌ語学的に説得的な立証をしなければ、単なる語呂合わせに終わってしまいます。アイヌ語の文法・語彙について十分理解し地名が地形を反映していることを確認する必要があります。
- ・2007年に横浜で開催された世界エスペラント大会で配布した**ブラハ宣言アイヌ語版**について、日本語の**遂語(チクゴ)訳**を、別添のとおり参考資料としてお配りしております。ご覧いただければ日本語とは語順が近いので、何となくアイヌ語の構造がわかるのではないかと思います。  
なお、代表的な日本語との違いについては、説明が重複しますが、次の項目があげられます。
- アイヌ語は、動詞によって関係する名詞句の項数が決まるので、日本語のように格助詞がなくとも意味が通じます。自動詞、他動詞、複他動詞は、動詞ごとに決まっています。
  - 動詞の否定辞(somo)は動詞の前におきます。
  - 動詞は、三人称や命令形などを除き、人称を示す接辞が、動詞の頭か尾に付きます。
- ・ご参考までに、アイヌ語をさらに学習するための参考書を記載します。
- 中川裕、中本ムツ子(2004)『CD エクスプレス アイヌ語』白水社  
田村すず子(1997)「アイヌ語」『日本列島の言語』三省堂(言語学大辞典から再収録)  
知里真志保(1956)『アイヌ語入門』楡書房  
知里真志保(1974)『知里真志保著作集』第4巻 平凡社  
田村すず子(1996)『アイヌ語沙流方言辞典』草風館(1998年再版)  
中川裕(1995)『アイヌ語千歳方言辞典』草風館  
萱野茂(1996)『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂

## アイヌ語の地名

文責：後藤義治（北海道エスペラント連盟員）（横山が一部関与）

アイヌ語地名についてはいろいろな人が取り組んでおり、ここで紹介した解釈について異論がある場合もありますので、その点ご了解下さい。

北海道の地名はほとんどがアイヌ語に由来する。他に藩が家臣を送り込んだもの（伊達、白石、佐倉、角田、鶴岡）や開拓入植社（者）の名を取ったもの（相馬、福島、宮城、秋田、鳥取）、後になって地方自治体が区画整理をして付けたものなどがある。今回はアイヌ語に由来する名を海岸線に沿って北海道をひと回りして見たい。

まずは札幌今有力な説は3つあるが、sat-poro-pet（乾いた・大きい・川）だ。札幌を一望するには藻岩山（531m）に登ればよい。藻岩山は mo-iwa（小さい・岩山）だが、もともとは北側にある円山が mo-iwa で藻岩山は inkar-us-pe（眺める・いつもする・所）と言っていたが、開拓使が間違えたようだ。札幌に次いで、運河で有名な小樽 ota-ru-nay（砂浜の・道の・川）だが、ひと昔前は札幌をしのぐ商業都市であった。西へ歩を進めると絶景、積丹 sak-kotan-pet（夏の・集落・川）、絵を描く者に取っては夏ばかりでなく春夏秋冬魅せられて止まない。ここからは舟で100km程南下すれば漁業の町瀬棚 seta-nay（犬・川）に至る。根拠は不明だが、ルペシペが seta（犬）と nay（川）の間に入っていたという説もある。この留辺蘂 ru-pes-pe（道・それに沿って下る・沢）は網走の常呂川と丘陵の町美瑛にもある。網走は後述するとして美瑛 piye（油っ濃い）は十勝岳から流れて来る温泉水でこの名が付いた様だ。当てた字は違うが、ビエイは帯広、釧路、本別、美幌にもある。話を進めよう。亀田半島の北部は内浦湾、別名噴火湾があり養殖漁業が盛んだ。イカ飯で有名な森は昔鬼牛別 o-ni-us-pet（川尻・木・群生する・川）と言ったが、ここは音でなく意味を取って森になった。湾の一番奥は長万部 o-samam-pet（川尻が・横になっている・川）、こちらはカニ飯で有名、対岸は今、洞爺と呼ぶが少し前までは虻田 Aputa（語源不明）と言った。

有珠山の大噴火を昨日の様に思い出す。道路・交通・建物・設備工場など大打撃を被ったが一人の死者も出さなかった世界でたったひとつ、岡田弘（北大教授）の地震予知の成功例だ。近接の昭和山も地球の生い立ちを教えてくれる。噴火湾北側の再端部は室蘭 mo-ruerani（小さい・坂）白鳥大橋が海に美しい姿を投影し名を示すように平地に少ない。北海道で一番古い温泉町は登別温泉町 nupur-pet（水が濁っている・川）、少し北上すれば、白老 siraw-o-i（蛇・群生している・所）はアイヌ文化が保存されており、住所、習慣、生活、歴史などアイヌ文化を知ることができる。

更に北東に進めば紙を中心にした工業都市 苫小牧 to-mak-oma-nay（沼・後に・ある・もの）、昔、海岸部渕が湿地帯であったからか、又はウトナイ湖の南側を言ったのだろうか。胆振地方へ入ると鶴川 Muka（語源不明）畑作・酪農地帯だ。東進すれば新冠 ni-kap（木の・皮）火の点け技、雁皮（がんび）が豊富だったのかも知れない。浦河 urar-pet（霧・川）、様似 samun-ni（倒れた・木）を超えるとえりも岬 en-rum（突き出ている・岬）だ。するどい日高山脈が海を刀で切り込むように没するところだ。本当に何もない最はての地が森進一のお蔭で全国有数の観光地の仲間入りをした。岬を廻り北に向かう道路は崖が重なる難所で古い話ではあるが、ここを通る国道336号線は国道工事中最もお金のかかった道路で今でも黄金道路と呼ばれている。40km程で広尾 pira-oro（崖・所）につく。何の変哲もない漁港だが豊かな十勝管内の海側を荷っている。この pira を平に当てた地名は多く赤平 aka-pira（屋根の・崖）、糠平 noka-pira（形象の・崖）、古平 hure-pira（赤い・崖）、札幌でも豊平 tuye-pira（崩す・崖）、平岸 pira-kes（崖の・はずれ）などがある。北上すれば浦幌 urar-poro（霧・多い）は気候温暖で霧が多いから植物の生育条件に適しており畑作・酪農、林業が盛んだ。

音別 o-mu-pet（川尻が・ふさがる・川）、白糠 sirar-ka（磯・岸）を過ぎれば、釧路 Kusur(i)（語源不明）だ。釧路は漁港、石炭、紙工業の街だ。観光客は湿原と丹頂鶴がお目当て、ゴルフ場は芝がすばらしいが、遊んだあとは速やかに手入れをしておかないとアイアンは気が付いた時は錆（さび）でまっ赤という事もある。釧路から根室まで今でこそ2時間半で行くが、ひと昔まえは10時間かかった。途中、厚岸 at-ke-us-i（オヒョウの皮・むく・いつもする・所）は、アツシ（at-tus - アイヌの日常着物を織る材料 -）を作る所。今はカキの名産地、伝統ある広島のカキより味も大きさも上回る。さらに進めば、浜中 ota-noske（砂浜の・中央）、浜中は意識で音訳は釧路近郊の大楽毛だ。

北海道の東端は根室 ni-mu-oro（木が・密生している・所）名が示すように樹木が密生しているのだが、面白いのはシベリア下しのせいだろうか海岸線は1mにも満たないのだが陸地に向かって背が高くなりスポーツ刈りのお兄さんの頭のようなようだ。北上すれば別海 pet-kay（川が・折れる）、今は内陸部の酪農地帯と思っている人が多い様だが、もともとは西別川 nu-us-pet（豊漁の・いつもある・川）の河口付近で川が折れ曲がっており、鮭の産卵期は立てた棹が倒れなかったという。更に北上すると釣針のように伸びた野付半島 not-kew（顎・骨の岬）がある。そこには番屋はあるが定住者はいない。釣針の内側は尾岱沼 ota-etu（砂・鼻）といって汽水湖になっているが解放水域が4kmもあるのだから湾といった方が早い。釣針のちもとの部分が津別 tu-pet（二つの・川）二つの川は津別川と埼無異川 sakipe-moy（サクラ鱒・湾）。海でホタテが川でサクラ鱒がとれ、この地の特産になっている。その先は世界自然遺産になった知床 siri-etok（大地の・先）半島の東部が羅臼 ra-us-i（低いところ・にある・物）、西側が斜里 sar（ヨシの生えた湿原）ウトロ uturu-ci-kus-i（その間を・我々が・通る・所）へ行けば立派なホテルも温泉もある。所が羅臼では「ずい分毛深い人だなあ

と違ってよく見たら熊だった」という伝説のある“熊の湯”がある。斜里、網走 cipa-sir (幣場の・大地)、常呂 tu-kor (岬・持つ)、佐呂間 sar-oma-pet (カヤ原・にある・川)、湧別 yu-pet (温泉・川) に至るまでエゾスカシユリ、ハマナス、アッケシソウ、サンゴソウ、ミズバショウ、エンレイソウ等の群生地が原生花園を作り出している。ここでは北海道に住む我々にでもなかなか口にできない魚貝類を食べる事ができる。理由は能取湖 not-or (岬の・所)、サロマ湖、コムケ湖 komke (曲がっている) など大きな汽水湖があるからだろう。北に向かえば興部 o-u-kot-pe (川尻が・互いに・ついている・川)、枝幸 e-sa-us-i (頭を・浜に・つけている・もの) からクッチャロ湖 kutcar (喉) をひとつ飛びして宗谷岬 so-ya (岩の・岸) に行き着く。北海道の最先端だ。目を西に向ければ 25~6km 先に野寒布岬 not-sam (岬の・かたわら)、こちらはノシャップと読み、根室の納沙布はノサップと読む。稚内 yam-wakka-nay (冷たい・水の・川)、港からは礼文島 repun-sir (沖の・島)、利尻 ri-sir (高い・土地) へフェリーが通っている。稚内から南下すれば、天塩 tes-o-pet (築(やな)・多い・川) にはゆるやかに流れる天塩川とほとりに広がる原生花園を見ているうちに着く。更に南に行くと遠別 wen-pet (悪い・川) を通るがこの名も結構多い。ウエンベツ (阿寒・黒松内)、宇園別 (当麻)、宇遠別 (陸別)、雨煙別 (栗山・幌加内)。wen (悪い) の意味は、魚が取れない、飲めない、水が濁っている、崖が多くて歩きづらいなど所によって違う。これからは南下一筋だが、まず羽幌 ha-poro-pet (引き潮・広い・川)、沖合 27km には天売島 cikere-sir (削られた・島)、焼尻 yan-ke-sir (陸に寄る・所・島) がある。北海道にはもうひとつ南西沖地震から見事に立ち直った奥尻島 ikusun-sir (向こうにある・島) だ。海岸線を走れば留萌 rur-mo-ot-pe (潮が・ないで・いつも・ある)、石狩 Iskar (語源不明) を過ぎれば終着札幌まで路線バスでも 1 時間はかからない。

この原稿は、

- 栃木義正 北海道 集落地名地理  
を底本に
  - 萱野 茂 萱野茂のアイヌ語辞典
  - 田村すず子 アイヌ語沙流方言辞典
  - 北海道新社編 北海道大百科辞典
  - 角川書店編 日本地理辞典
  - 平凡社編 世界大百科辞典
- を参考にして書いた。

## 国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言

(アイヌ語訳)

プラハ or ta ci=ye itak  
プラハ で 私たちが・言った 言葉

- Usa mosir un utar ukoytak pa kuni  
- いろんな 国 の 人たちが 話し合う ために  
a=kar itak "Esperanto" makanak an ya ka,  
作られた 言葉 「エスペラント」が どのようなもので あるか、  
eci=nure p ne ruwe ne. -  
私たちがあなたたちに・知らせる もの です。 -

---

私たち、エスペラントの発展のための世界的な運動に加わる者たちは、この宣言をすべての政府、国際組織および良心ある人々に対して送り、ここに表明された目標に向けて私たちが不退転の決意をもって活動し続けることを宣言するとともに、それぞれの組織と個人とが私たちのこの努力に加わるよう呼びかける。

(アイヌ語訳)

Oripak turano ne yakka ci=ye ruwe ne.  
恐縮ですが、 申し上げます。  
C=utari anakne, エスペラント ye utar  
私たちは、 エスペラントを 話す 人達が  
naa poronno an kuni, usa mosir ta usa okay pe  
もっと 増える ように 色々な 国 で 色々な 事を  
ci=ki oasi hawe tapan na.  
(私達が・)しようと思う の です よ。  
Te ta ci=ye hi usa mosir un 政府 or un utar neya  
ここで 私達が・言う ことを 色々な 国 の 政府 の たち や  
国際組織 un utar neya opitta pirkano ci=nure ka ki,  
国際組織 の 人たち や すべてに きちんと (私達が・)知らせる こともします、  
te ta ci=ye hi nen poka an ayneno an kuni  
ここで 私達が・言う ことが 何とか そのまま ある ように  
c=arikiki ka ki kusu ne.  
私達が・一生懸命働く ことも します。

Rapok ta, usa oka utar c=utari turano  
一方で、色々な人たちが 私たちと 共に  
arikiki wa un=kore kuni ci=nisuk kusu ne.  
一生懸命働いて (私達に・) くれる ように (私達が・) 頼む つもりです。

---

エスペラントは、1887 年に国際的コミュニケーションのための補助言語案として提唱された後、生命力と表現力に富んだ言語へと速やかな発達を遂げ、すでに一世紀以上にわたって言語と文化の壁を越えて人々を結びつける働きを果たしてきた。エスペラントの使用者たちが目指してきた理想は今なお重要性と現代的意義を失っていない。私たちは公正で効果的な言語秩序のためには以下に述べる原則が必須であると考え、いずれかの民族語を世界語として使用しても、また今後いかに通信技術が進歩し、新しい言語教育法が開発されるにしても、これらの原則を実現することはできないであろう。

(アイヌ語訳)

エスペラント anakne, 1887 pa ta a=kar itak  
エスペラント は、 1887 年 に 作られた 言葉  
("a=numke easkay kuni itak") ne wa,  
(「選ぶことができる ようにした 言葉」) であり、  
newaanpe ani usa mosir un utar  
それ によって いろんな 国 の 人たちが  
ukoytak easkay kuni a=ramu itak ne ruwe ne.  
互いに話し合う事が できる ように 考えられた 言葉 です。  
Okake ta, エスペラント itak ipehe naa poronno pirkano oka wa,  
その後、 エスペラント の言葉 の意味は もっと たくさん 良くなって、  
tane 1世紀 akkari utur ta, usa oka itak ye utar ka  
もう 1世紀 以上の 間、 いろんな 言葉 を言う 人 も  
usa oka puri kor utar ka, ani etoko tuypa  
いろんな 文化 を持つ 人 も、 それによって 邪魔される  
ka somo ki no ukoytak a ruwe ne.  
ことなく 話し合っ て きました。  
エスペラント ye utar neno irawe hi anakne,  
エスペラントを 話す 人たちが そのように 望んだ こと は、  
tane ne yakka uneno an kuni ci=ramu.  
今 であっても 同じ だ と (私たちは・) 思います。

Nen ne yakka oya itak ani wente ka somo ki no,  
誰で あっても 別の 言葉 によって 害される ことなく、  
pirkano ukoytak easkay kunine, sine itak or ta  
良く 話し合い ができる ように、 ある 言葉 において  
ci=ki rusuy hi ene oka hi;  
私達が・望む ことは 以下の通りです；

(Newaanpe anakne, inan mosir un itak ne yakka wen  
(これ は、 どの 国 の 言葉 であっても いけない  
kuni ci=ramu.  
と 私たちは・思います。

Te wano neun 通信技術 pirkano an yakka,  
これから どのように 通信技術が よく なっても、  
neun itak epakasnu yakka wen nankor.)  
どのように 言葉を 教え ても だめ でしょう。)

---

## 1. 民主性

あるコミュニケーションのしくみが、特定の人々には一生涯の特権を与える一方で、他の人々にはより低い段階の能力の獲得にさえ多年の努力をつぎ込むよう求めるなら、それは根本において反民主的なものである。エスペラントは、他の言語と同様に、完全ではないが、平等な全世界的コミュニケーションという領域では、どの競合する言語に比べてもはるかにまさっている。

言語の不平等は、国際レベルを含めたあらゆるレベルにおいて、コミュニケーションの不平等を生み出すものであると、私たちは主張する。私たちの運動は民主的なコミュニケーションを目指すものである。

(アイヌ語訳)

1. A=utari opitta uneno a=ye easkay kuni p  
1. 私たち みんなが 同じように 言うことが できる もの

Sine mosir un itak ye kur epirka rapok ta,  
ある 国 の 言葉を 言う 人が それで得をする 一方、  
oya mosir un itak ye kur anak  
別の 国 の 言葉を 言う 人 が  
ne itak ponno ka erampewtek hi kusu esirkirap yak wen.  
その 言葉を 全然 知らない がために 苦勞する ならば 良くありません。

Pirka itak anakne, a=utari opitta  
 よい 言葉 とは、 私たち みんなが  
 uneno a=ye easkay kuni p ne ruwe ne.  
 同じように 言う ことができる もの です。  
 エスペラント nep ka wen hi isam  
 エスペラントが 何 も 悪い ところがない  
 sekor anak somo ci=ye korka,  
 と は (私達は・) 言いません が、  
 newaanpe or ta iyotta pirka itak ne sekor yaynu=as.  
 この点においては 一番 よい 言葉 であると 私たちは・考えます。

## 2. 民族性を超えた教育

民族語はそれぞれ特定の文化・国家と結びついている。例えば、英語を学習する生徒は英語圏の諸国、特にアメリカ合衆国とイギリスの文化・地理・政治について学ぶことになる。それに対してエスペラントを学習する生徒は、国境のない世界について学ぶのであって、そこではどの国も故国と見なされる。

いずれの民族語を用いた教育も特定の世界観に結びついていると、私たちは主張する。私たちの運動は民族性を超えた教育を目指すものである。

(アイヌ語訳)

2. A=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p  
 2. 私たち みんなが 同じように 勉強することが できる もの

Sine mosir un itak eraman rusuy pe anakne,  
 ある 国 の 言葉を 勉強 したい 者は、  
 ne mosir oruspe ka puri ka poronno eraman yak easir pirka.  
 その 国の 話 も 文化 も たくさん 勉強 しないと いけません。  
 英語 eraman rusuy kur ne yakun, アメリカ oruspe neya  
 英語を 学び たい 人 なら、 アメリカの 話 や  
 イギリス oruspe neya pirkanō eraman kuni p ne.  
 イギリスの 話を きちんと 勉強する ことになります。  
 Rapok ta, エスペラント sine mosir un itak ka somo ne kusu,  
 一方、 エスペラントは ある 国 の 言葉では ない ので、  
 neno an oruspe isam.  
 そのような 話は ありません。

A=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p ne,  
私たち みんなが 同じように 勉強する ことができる もので ある、  
sekor yaynu=as.  
と 私たちは・考えます。

---

### 3. 教育上の効果

外国語を学習する人の中で、それを習得できる人の割合はごく低い。それに対してエスペラントの習得は独習によっても可能であり、他の言語を学ぶための予備的学習としての効果についてもさまざまな研究報告がある。また、生徒の言語意識を高めるための教科においてエスペラントを中核に位置づけるよう勧める声もある。

民族語の学習は難しく、第二言語の知識があればそれによって益を受けるはずの多くの学習者にとって常に障害となり続けるであろうと、私たちは主張する。私たちの運動は効果的な言語教育を目指すものである。

(アイヌ語訳)

3. Isaykano a=eraman easkay kuni p  
3. 簡単に 勉強することが できる もの

Oya mosir un itak hokampa p ne ruwe ne.

別の 国 の 言葉は 難しい もの です。

Neun a=epakasnu yakka erampewtek utar poronno oka nankor.

どんなに 教わっ ても わからない 人は たくさん いる でしょう。

Rapok ta, エスペラント isayka itak ne kusu,

一方、 エスペラントは 簡単な 言葉 なので、

yaykata pirkan a=eramaneaskay pe ne.

ひとりで きちんと 学ぶことができる もの です。

Oya mosir un itak a=epakasnu hi etoko ta,

別の 国 の 言葉を 教わる (ことの) 前に、

エスペラント eraman yak pirka sekor ye utar ka oka.

エスペラントを 知っている と 良い と 言う 人たち も います。

エスペラント isaykano a=eraman easkay kuni p ne

エスペラントは 簡単に 勉強することが できる もの である、

sekor yaynu=as.

と 私たちは考えます。

---

#### 4. 多言語性

エスペラントの共同体は、その構成員が例外なく二つ以上の言語を話すという、世界的規模の言語共同体としては数少ない例の一つである。構成員はそれぞれ、少なくとも一つの非母語を会話のできる程度まで学ぶことを自己に課している。多くの場合、このことは複数の言語に対する知識と愛着をもたらし、ひいてはその人の視野をより広くすることにつながっている。

どの言語の話し手にも、その言語の大小を問わず、コミュニケーションが可能な高い水準まで第二言語を習得する現実的な機会が与えられていてしかるべきだと、私たちは主張する。私たちの運動はその機会を提供するものである。

(アイヌ語訳)

4. Yay-itak        tup    akkari    a=eraman    hi

4. 自分の言葉を    二つ    以上    勉強する    こと

エスペラント    ye    utar    opitta,    neun poka    yay-itak    tup    akkari

エスペラントを    話す    人は    全て、    どうにかして    自分の言葉を    二つ    以上

eraman    pe    ne ruwe ne.

勉強した    者    です。

Utari        ukoytak    easkay kuni    pakno    oya    itak    eraman    pe    ne.

その人たちは    会話が    できる    まで    別の    言葉を    勉強した    者    です。

Iki ayne,    ne    kur    pawetok    kur    ne wa,

その結果、    その    人は    雄弁な    人    になって、

uwosuwos    usa        okay pe    eraman    nankor.

次々と    いろんな    ことを    学ぶ    でしょう。

Yay-itak    tup    akkari    a=eraman    yak    pirka    p    ne.

自分の言葉を    二つ    以上    勉強する    と    良い    もの    です。

Ne hi    oro ta    エスペラント    anakne    iyotta    pirka    itak    ne,

その時    に    エスペラント    は    最適な    言葉    である、

sekor    yaynu=as.

と    私たちは考えます。

---

#### 5. 言語上の権利

言語間に力の不平等があることは、世界の大部分の人々にとって、言語的な危機感をもたらし、ときには直接の言語的抑圧となっている。エスペラントの共同体では、母語の大小や公用・非公用を問わず、互いの寛容の精神によって、中立の場集っている。このよう

な言語における権利と責任の間のバランスは、言語の不平等や紛争に対する新しい解決策を進展させ評価するための先例となるものである。

いずれの言語にも平等な取り扱いを保証する旨が多くの国際的文書に表明されているが、言語間の力の大きな格差はその保証を危うくするものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語上の権利の保証を目指すものである。

(アイヌ語訳)

5. Inan itak ne yakka a=eyam hi

5. どの言葉であっても大切にされること

Usa oka mosir un utar anakne, kor itak sinna hi kusu  
いろいろな国の人たちが、持つ言葉が違うということで  
a=okpare yak wen.

冷遇されるのはよくないです。

エスペラント ye utar or ta, inan itak ne yakka,  
エスペラントを話す人たちの中では、どの言葉であっても、  
hempak utar kor itak ne yakka, ney ta ye itak ne yakka,  
何人の人たちが持つ言葉であっても、どこで話す言葉であっても、  
opitta a=eyam kuni p ne ruwe ne.

すべて大切にされるべきものです。

Ene yaynu=an yakne, kor itak sinna kusu  
このように考えるならば、(持つ)言葉が違うから  
a=i=okpareka somo ki.

冷遇されるということはありません。

Usa oka kampi ka ta "inan itak ka a=eyam pe ne."  
いろいろな紙の上に「どの言葉も尊重するものです。」

sekor a=nuye wa an korka,

と書かれています。

an pe anakne inne utar kor itak ye kur patek  
実際は多くの人たちの持つ言葉を使う人ばかりが  
epirka wa an ruwe ne.

得をしています。

エスペラント an yak usa oka itak naa a=eyam,  
エスペラントがあればいろいろな言葉がもっと尊重される、  
sekor yaynu=as.

と私たちは考えます。

---

## 6. 言語の多様性

諸国の政府は往々にして世界における言語の多様性をコミュニケーションと社会発展にとっての障害とみなしがちである。しかし、エスペラントの共同体にとっては、言語の多様性は尽きることなく欠くことのできない豊かさの源泉である。したがって、それぞれの言語はあらゆる生物種と同様にそれ自身すでに価値があり、保護し維持するに値するものである。

もしコミュニケーションと発展に関する政策がすべての言語の尊重と支持に基礎を置くものでないならば、それは世界の大多数の言語に死を宣告するものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語の多様性を目指すものである。

(アイヌ語訳)

6. Utar kor itak poronno an hi

6. 人々 の持つ 言葉が たくさん ある こと

Usa oka mosir un 政府 anakne, utar kor itak poronno an yak  
いろいろな 国 の 政府 は、 人々 の 言葉が たくさん ある と  
ukoysoytak=an niwkes kusu wen sekor yaynu nankor.

会話が しにくい から よくない と 考えるかも しれません。

Korka, エスペラント ye utar or ta,

しかし、エスペラントを 話す 人たち の中 では、

kor itak poronno an hi sino pirka ruwe ne.

(持つ) 言葉が たくさん ある ことは 本当に 素晴らしい ことです。

Usa oka itak anakne sinep pisno kamuy koraci an pe ne wa,

いろいろな 言葉 は、 一つ ごとに 神 のような もので、

opitta a=eyam kuni p ne.

全て 大切にされる べき もの です。

Isaykano ukoysoytak=an easkay sekor a=ye kor,

簡単に 会話 できる と 言い ながら、

poronno an itak utar somo a=eyam kuni 政策 sanke yakun,

多くの 言葉 (たち)を 大事にしない ような 政策を 出す ならば、

itak poroser isam nankor.

言葉の 大部分は なくなって しまうでしょう。

Inne itak turano oka=as kuni エスペラント un=kasuy

多くの 言葉 とともに ある ように エスペラントは (私たちを・)助けて

wa un=kore, sekor yaynu=as.

くれる、 と 私たちは・考えます。

---

## 7. 人間の解放

いかなる言語も、その使用者間のコミュニケーションを可能にすることによって人々を自由に行っている一方で、他の人々とのコミュニケーションを阻害することによって不自由にもしている。全世界的なコミュニケーションの道具として立案されたエスペラントは、人間解放の大きな実際の事業の一つである。すなわち、すべての人が各自の地域文化や言語的独自性にしっかりと根ざしていながらそれに制約されず、人類の共同体にその一員として参加することを可能にする事業なのである。

数ヶ国の民族語のみを使うことは自己表現やコミュニケーション、連帯の自由に対する障害となることが避けられないと、私たちは主張する。私たちの運動は人間の解放を目指すものである。

(アイヌ語訳)

7. Nen ne yakka somo esirkirap no ye easkay hi  
7. 誰 もが 悩まずに 話せる こと

Inan itak ne yakka, eraman utar anak  
どんな言葉 でも、 理解している 人 は  
ukoysoytak easkay korka, erampewtek utar anak eaykap.  
会話が できます が、 してない 人 は できません。

Newaanpe ewen utar ka poronno an.  
それで 損をしている 人たち も たくさん います。

エスペラント anakne, inan mosir ta neyakka a=ye easkay kuni  
エスペラント は、 どの 国 でも 話せる ように

a=kar pe ne wa, nen ne yakka kor itak ka  
作られた もの で、 誰 もが 自分の持つ 言葉 や

kor puri ka somo osurpano ukoysoytak easkay ruwe ne.  
(持つ) 文化 も 棄てずに 話すことが できます。

Tapne kane, a=utari anakne “人類 uwekarpa” or  
このようにして、 私たちみんな は 「人類の 集まり」 の中に

uniyorot=an easkay ruwe ne.  
参加することが できる のです。

Ne uwekarpa or ta, sine mosir or ta a=ye itak  
その 集まり において、 ある 国 で 話されている 言葉

tup ka rep ka ani patek ukoysoytak=an yak wen.  
二つ か 三つ か だけで (私たちが・) 会話を する のは よくありません。

エスペラント ani, nen ne yakka

エスペラント によって 誰 もが

somo esirkirap no ukoysoytak easkay, sekor yaynu=as.

悩まず に 会話することが できる、 と 私たちは・考えます。

アイヌ語の現状について

## Pri la nuna stato de aina lingvo

横山裕之（北海道エスペラント連盟員）

YOKOYAMA Hiroyuki (Ano de Hokkajda Esperanto-Ligo)

UK2007 用に 2007-08-07 に書いた原稿を元にこの原稿を書き直しました。

Mi reskribas ĉi-tiun manuskripton baziĝintan sur tiu skribita en 2007-08-07 por UK2007.

こんにちは、皆さん。

Saluton, karaj samideanoj.

私はアイヌ民族には属さない日本人です。横山と申します。

Mi estas japano ne apartenanta al aina gento. Mia nomo estas YOKOYAMA (jokojama).

日本列島の最北端の大きな島、北海道に住んでいます。

Mi loĝas en la plej norda granda insulo el Japano Insularo, Hokkajdo.

北海道エスペラント連盟員でもあります。

Mi ankaŭ estas ano de Hokkajda Esperanto-Ligo.

今から 10 年ほど前からアイヌ語を学習しています。現在は札幌で学習をしています。それ以外には、唯一のアイヌ語新聞「アイヌタイムズ」を作成するお手伝いをしています。

De ĉirkaŭ 10 jaroj mi lernas la ainan lingvon. Nun mi lernas en la urbo Sapporo. Krom tio, mi helpas faradi la unikan ainalingvan gazeton "AinuTimes".

アイヌ民族は、主に北海道に住んでいる先住民族です。

Aina gento estas la indiĝena gento loĝanta ĉefe en Hokkajdo.

「アイヌ」は、人間を意味します。アイヌの人たちは、自分たちに役立つものや自分の力の及ばないものをアイヌの神々であるカムイとみなしました。日常の生活の中で、祈り、神に対して様々な儀式を行いました。

"Ainu", origina vorto por aino, signifas "homo"-n. Ainoj rigardas aferojn utilajn por si aŭ aferojn super sia rego kiel "kamuy", ainajn diaĵojn. En ĉiutaga vivo ili preĝis kaj faris variajn ceremoniojn je la diaĵoj.

それらの神々には、火、水、風そして雷といった自然神、クマ、キツネ、シマフクロウやシャチといった動物神、トリカブト、キノコやヨモギといった植物神、舟や鍋といった物神、さらに家を守る神、山の神や、湖の神があります。「アイヌ」ということばは、そういった神「カムイ」と対立する概念を意味します。

Tiuj diaĵoj estas: "naturaj" diaĵoj kiel de fajro, akvo, vento kaj tondro; "animalaj" diaĵoj kiel de urso, vulpo, blakistona strigo kaj orko; "plantaj" diaĵoj kiel de akonito, fungo kaj artemizio; "objektaj" diaĵoj, kiel de boatoj, potoj; kaj diaĵoj, kiuj protektas domojn, diaĵoj de montoj kaj diaĵoj de lagoj. La vorto "Ainu" signifas la koncepton kontraŭ la ainaj diaĵoj "Kamuy".

では、アイヌ語復興の現状を話します。

Nun mi parolas pri la efektiva stato de revivigi la ainan lingvon.

1998 年に国連の国際規約人権委員会は日本政府に次のような見解を示しました：「委員会は、土地の権

利の不認定と同様に、言語と高等教育に関するアイヌ先住民族少数者の人々に対する差別に懸念を有する。」

En 1998 Komitato por Homaj Rajtoj en UNO prezentis al la japana registaro jenan opinion: "La Komitato zorgas pri la diskriminacio kontraŭ ano de la aina minoritato koncerne lingvon kaj altan edukadon kiel ne-agnosko pri iliaj landaj rajtoj".

そして、日本政府は、2008年にアイヌ民族が先住民族であると結論を出しました。

Kaj en 2008 la japana registaro konkludis, ke la aino estas indiĝeno.

19世紀の明治時代には、小学校のような公的教育の場でのアイヌ語使用の禁止がありました。

En "Meiji" laŭ japana erao en la 19-a jarcento, la japana registaro malpermesis uzi la ainan lingvon en oficiala edukado, ekz-e, tiu en la elementa lernejo.

また、封建社会の崩壊による日本人の北海道への大量の入植や天然痘、コレラ、結核などの日本人による感染症による死亡などによって、北海道で多数者であったアイヌ民族は、少数者となりました。

Kaj multaj japanoj koloniis la insulon "Hokkajdon" pro la disfalo de japana feŭda socio, multaj ainoj mortis pro infektaj malsanoj de japanoj kiel variolo, ĥolero kaj tuberkulozo kaj aliaj, tial la aino, multaj popoloj en Hokkajdo, fariĝis malmultaj popoloj.

こうした状況下で、日本人からの様々な差別や偏見、加えて日本の法律によって自分の生活様式が破壊され貧困となり、自分の言語や文化を捨てさせるような日本への同化が促されました。

Sub tia stato japanoj obsedis de diversaj rasismoj kaj antaŭjuĝo kontraŭ la aino, aldone ainoj fariĝas malriĉaj pro detruo de siaj vivmanieroj laŭ japana leĝo, tial tio akcelas asimiladon al la japanaj aĵoj, ke ainoj forlasigu siajn lingvojn kaj kulturojn.

そのため、現在では母語話者の数が非常に少なくなっており、アイヌ語を日常の生活のことばとして伝えていくことは非常に困難なものとなりました。

Konsekvence nun gepatraj ainalingvanoj fariĝas tre malmultaj, tial tre malfacile fariĝas heredi ĉiutagan uzadon de la aina.

このため、アイヌ語は滅びゆくものと言われていました。

Kaj onidire la aina pereos.

しかし、アイヌ語とアイヌ文化の遺産は完全に途絶えることはありません。

Tamen ne plene ĉesas la heredo de la aina lingvo kaj kulturo.

アイヌ民族は、様々な試みをしてきました。

Ainoj faradas diversajn provojn.

アイヌ民族の言語や文化の継承については、萱野さんのアイヌ語塾のように、特に1980年代に入ってアイヌ語やアイヌ文化を取り戻し、次世代に伝えていこうという動きがありました。

Parolante pri heredo de la aina lingvo kaj kulturo, precipe en la 1980-aj jaroj troviĝis movadoj, revivigi ilin, kaj heredigi ilin al la sekva generacio kiel la ainalingva lernejo de s-ro KAYANO.

日本の中でこのような言語復興の動きは、アイヌ語のほかにも、沖縄語などがあります。

En tia movado por revivigi lingvon, en Japanio, troviĝas la okinava kaj aliaj krom la aina.

日本の最南端の諸島である琉球諸島には、かつて日本から完全に独立した琉球王国という王国がありました。その首都は沖縄の首里でした。

En la plej sudaj insuloj en Japanio, Rjuukjuu Insuloj, iam troviĝis la reĝlando "Rjuukjuu Ookoku" sendependinta tute de Japanio. Ĝia ĉefurbo estis la urbo "Sjuri" en la insulo Okinavo.

琉球語は、琉球で話されている言葉です。沖縄語は、琉球語の一方言です。

La luĉa lingvo estas la lingvo parolata en Rjuukjuu Insuloj. La okinava lingvo estas unu dialekto en la luĉa.

言語学的には、琉球語は日本語と系統が同じであると証明されていますが、琉球語と日本語との違いは、イタリア語とフランス語くらいの違いとなっています。

Laŭ la lingvoscienco estas konfirme, ke la luĉa kaj la japana lingvoj devenas de sama lingvo-familio, sed la diferenco inter la lingvoj estas tiel malsama kiel la itala kaj la franca lingvoj.

日本の文字で書かれている沖縄語のプラハ宣言があります。沖縄語版は、沖縄語復権運動をしている沖縄人の比嘉清（ひがきよし）さんと作成しました。

Troviĝas la Manifeston de Prago en la okinava japanlitere. Mi faris la okinavan version kun s-ro HIGA Kiyosi (kijoŝi), okinavano kaj movadano reviviganta la okinavan lingvon.

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/prago/pragooki.htm>

比嘉さんは、中国由来の言葉「漢語」混じりの沖縄語を取り入れるなど言葉の表現力を増すことによって、日本語のように沖縄語を発展させることができ、それに伴い沖縄語の創作活動も発展し、後世に沖縄語を残すことができると主張しています。

Laŭ lia penso la okinava lingvo disvolvas riĉecon de la esprimo kiel la japana, se oni alprenas la okinavan kun la ĉindevenaj vortoj "Kango", per kiuj oni relative facile faras la modernajn vortojn. Kaj kun tio aktivado de originala verko okinave disvolviĝas kaj oni povos heredigi la okinavan al la estonta generacio.

ご存知のように、オーストラリアのアボリジニとか、ロシア、アメリカ、ヨーロッパにも、このような言語復興の動きがあるようです。

Kiel vi scias, onidire inter aŭstraliaj aborigenoj, en Rusio, en Ameriko kaj en Eŭropo troviĝas tiaj movadoj revivigi lingvon.

このことは、2004年から2015年までの国連の「第2次世界先住民族の国際10年」、そして作業部会が起草した「先住民族の権利に関する国際連合宣言」のような世界的な潮流も追い風になっていると思います。

Ilin favoras la monda tajdo kiel "2-a Internacia Jardeko de la mondaj indeĝenaj popoloj" de Uno ekde 2005 ĝis 2014, kaj "Deklaro pri la rajtoj de la indeĝenaj popoloj" de la laborgrupo en UNo.

では、次の話題に移りましょう。アイヌ語復興運動で有名な故萱野茂さんについて述べます。

Nun mi transiru al la dua temo. Mi parolas pri bedaŭrata s-ro KAJANO Ŝigeru, kiu estas fama pri movadanto reviviganta la ainan lingvon.

彼は、日本で初めてアイヌの参議院国会議員になりました。2006年に亡くなりました。

Li unuafoje fariĝis aina senatano en Japanio. En 2006 li mortis.

国会の委員会の中で、萱野さんは、「日本にも大和民族以外の民族がいることを知って欲しい」という理由で、アイヌ語で質問をしました。

En la komitato de la japana parlamento, s-ro KAYANO faris demandon ainalingve ĉar li sciigu la komitatanojn pri ekzistado de gentoj krom Jamato-gento en Japanio.

アイヌ民族の苦難の歴史や現状、先住民族の権利回復について、アイヌ語で質問したことによって、アイヌ語は、神話や昔話に使われるだけでなく、現在・未来でも生きて使える言葉であることを印象づけたと思われまます。

Li demandis ilin pri suferiga historio kaj efektiva stato pri aino, reakiro de indiĝena rajto, tial sajn, ke tio impresas ilin kiel tio, ke la aina lingvo ne nur estas uzata por mito kaj malnova rakonto, sed ankaŭ por ĉio kiel la vivanta lingvo.

アイヌ語母語話者でもある萱野さんは、1960年代にアイヌ語の将来のために、アイヌ語話者のところへ行って、アイヌ語の録音・記録を始めました。

En la 1960-aj jaroj por estonto de la aina, s-ro KAYANO iris al gepatraj ainalingvanoj, por ke li sonregistru kaj enskribu la lingvanajn dirojn.

また、様々なアイヌ語の物語を日本語に訳して紹介しました。

Kaj li tradukis la ainajn rakontojn en la japanan, sekvante li klarigis la rakontojn.

1983年には、平取町二風谷で、地元の子供達を対象に「アイヌ語塾」を始めました。

En 1983 li komencis la privatatan ainalingvan lernejon por la infanoj en Nibutani de la urbeto Biratori.

その後、これをモデルにして、アイヌの団体である北海道ウタリ協会が、北海道の各地でアイヌ語教室を次々に開設し、現在は14カ所で開設されました。

Post tio laŭ la modelo de la lernejo, la aina organizo "Hokkaida Aina Asocio" fondis la ainalingvajn lernejojn unu post la aliaj en diversaj lokoj de Hokkajdo, troviĝis en 14 lokoj.

これはアイヌでなくても参加ができて、私は、以前に、白老、苫小牧の教室に参加し、札幌の教室に参加していました。

Eĉ se ne esti aino, oni povis partopreni en la lernejoj. Mi iam partoprenis en ilin ĉe la urbeto Ŝiraoi kaj la urbo Tomakomai, partoprenis en ĝin ĉe la urbo Sapporo.

では、別の話題に移りましょう。唯一のアイヌ語新聞「アイヌタイムズ」の現状について話します。

Nun mi transiru al la alia temo. Mi parolas pri la efektiva stato de la unika ainalingva gazeto "Ainutimes".

そして、エスペラントの関連について話します。

Kaj mi parolas pri la aferoj rilataj al Esperanto.

1997年からは、萱野志朗さんらアイヌの同志が発起人となり、アイヌ語ペンクラブという団体を設立し、アイヌ語のみで作られた新聞「アイヌタイムズ」が定期刊行されました。

En 1997 s-ro KAJANO Ŝiroo kaj aliaj, la ainaj volontuloj, fondis la laŭvolan asocion 'Ainugo-Pen-Kurabu' signifanta 'Ainalingvo-PEN-Klubon' kaj publikigas regule la gazeton 'AinuTimes' faritan nur aine.

年3~4回の発行で、2012年7月には、第55号が発刊されます。

Ĝi estas publikigata trifoje aŭ kvarfoje ĉiu jare, en julio en 2012, n-ro 55 estos publikigita.

アイヌタイムズの母体である、アイヌ語ペンクラブの目的は、言論、表現出版の自由を擁護し、アイヌ語による表現、出版を日本および全世界へ普及させることと、規約にはあります。

La celo de Ainugo-PEN-Kurabu, la centra klubo faranta "AinuTimes", estas protekti liberecon pri parolo, esprimo kaj eldono, kaj disvastigi esprimon kaj publikigo aine laŭ la regularo.

この規約に従って、この刊行物では、我々の現代生活の様々な事象をアイヌ語で表現しようとする試みが行われています。

Laŭ la regularo en la eldonajo oni provas esprimi diversajn aferojn de moderna vivo aine.

2007年6月24日現在、購読書数は116名です。このうち2名は外国（香港、ポーランド）からです。

En la 24a de junio 2007, la nombro de legantoj estas 116. 2 personoj el tiuj estas alilandanoj, Honkongano kaj polo.

しかし、読者数は思ったように増えずに、現在、何とか赤字にならずに、財政は危機的状況にあります。

Sed la nombro de legantoj ne pliiĝas super nia supozo. Nun nia agado apenaŭ ne fariĝas deficita, nia financo estas en kriza situacio.

北海道エスペラント連盟のウェブページアドレスとメールアドレスを次のように書きました。

Jene skribiĝas adresoj pri retpaĝo kaj retletero de Hokkajda Esperanto-Ligo.

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/index.htm>

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index-j.htm>

[hokkaido\\_esp\\_ligo@yahoo.co.jp](mailto:hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp)

購読を希望される方はご連絡ください。事務局へ中継ぎをします。必要があれば、題名や概要をエスペラントで訳します。わからない単語もお教えします。また、北海道エスペラント連盟のウェブページには、私が書いたアイヌ語記事をエスペラントと一緒に載せていますので、読んでください。

Se esperi legi la ainajn gazetojn, bv. adresi al la retadreso. Mi transsendu vian mesaĝon al la sekretariato. Se necese, mi traduku la temon aŭ la resumon en Esperanton, kaj klarigu la ainajn vortojn nekompreneblajn por vi. Kaj en la retpaĝon de la ligo troviĝas miaj ainaj artikoloj kun la Esperanta traduko. Do legu ilin.

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/JOKO/miaarti.htm> (Esp-e)

[http://www.geocities.jp/aynuitak/ATkana\\_utf8\\_eo.htm](http://www.geocities.jp/aynuitak/ATkana_utf8_eo.htm) (Esp-e)

なお、設立者のアイヌである萱野志朗さんからメッセージをいただいておりますので、お伝えします。

Mi ricevis mesaĝon de s-ro KAJANO Ŝiroo, unu el aina inciatintoj. Do mi parolas pri lia mesaĝo.

「この地球上には言語、民族、宗教、国籍を異にする人々が暮らしている。それぞれの民族が、帰属する国の政策に左右されることなく、それぞれの言語を使用する権利が普遍的に保障されることを望みます。」

En la tuta mondo vivas homoj kun diversaj lingvoj, gentoj, religioj kaj nacioj. Mi deziras, ke oni ĝenerale garantias al ĉiu gento la rajtojn pri uzadoj de ĉiu lingvo sen dependi de politiko de la registaro, al kiu la gento apartenas.

私は、1999年9月の第11号からこの事業に参加しています。

Mi partoprenas en la movadon ekde n-ro 11 en septembro 1999.

私が書いたものは、エスペラントに関するものとしては、北海道エスペラント連盟で出版したアイヌ韻文物語「アイヌ神謡集」のエスペラント訳である「Ainaj Jukaroj」の紹介（1999年9月第11号）、それから、オランダのエスペランチストであるベシー・スハデーさんたちが始めた事業、「Indiĝenaj dialogoj」先住民族の対話の紹介（2000年12月第16号）があります。

En mia artikolo pri Esperanto en septembro 1999, n-ro 11, troviĝas klarigo pri 'Ainaj Jukaroj', kiu

estas Esperanta truduko verkita de la Esperanta ligo el la aina versa rakonto 'Ainu-ŝinjooŝuu'. Kaj en decembro 2000, n-ro 16, troviĝas klarigo pri 'Indiĝenaj Dialogoj', kiu estas agado fondita de s-ino Bessie SCHADEE (besii ŝhadee), la nederlanda Esperantisto.

80 年以上前に知里幸恵というアイヌの少女がアイヌの韻文物語を自ら書き留めてまとめたアイヌ神謡集という本があり、とても有名です。北海道エスペラント連盟では、この本を世界に紹介するために 20 年前にエス訳して出版しました。この翻訳作業に私たちは非常な努力をしました。ぜひ、この本を買っていただいて、日本の先住民族の美しい口承文学をみなさんに知ってほしいと思います

Troviĝas la libro "Ainu-ŝinjooŝuu", kiu estis redaktita de s-ino TIRI Yukie (ĉiri jukie), aina junulino, el la ainaj versaj rakontoj notitaj per si mem antaŭ 80 jaroj. Ĝi estas tre fama. Hokkajda Esperanto-Ligo publikigas la Esperantan tradukaĵon 'Ainaj Jukaroj' antaŭ 20 jaroj por, ke ni rekomendu la aina libro en la mondo. La laboro de nia tradukado estas tre klopoda. Ni volas, ke vi nepre aĉetu nian libron, kaj eksci la belajn buŝajn literaturojn de la japana indiĝeno.

「先住民族の対話」という事業は、先住民同士の国際交流をエスペラントとコンピュータを使って推進しようとするものです。

La afero 'Indiĝenaj Dialogoj' estas, ke oni promocias internacian interŝanĝon de diversaj aferoj inter indiĝenoj Esperante kaj komputile.

これにつきましては、2000 年 12 月に伊達市で開催されましたアイヌ文化振興・研究推進機構が主催した「アイヌ語弁論大会」でも発表しまして、エスペラントとこの「先住民族の対話」という事業についてのパンフレットを会場で配布しました。

En decembro 2000 ĉe la urbeto Date mi publikigis tion en la aina oratora konkurso okazigata de 'AinuBunka-Sinkoo-Kenkjuu-SuisinKikoo' signifanta 'La organizo por promocio pri disvastigo kaj studado de la ainaj kulturoj'. Mi disdonis la broŝureton pri Esperanto kaj la afero en la kunvenejo.

この「アイヌ文化振興・研究推進機構」とは、1997 年に日本で施行したアイヌ文化振興法に基づいたできた財団法人のことです。

La organizo estas fondusa jura persono surbaze de la juro por disvastigo pri ainaj kulturoj efektivigitaj en 1997 en Japanio.

この財団では、アイヌ語の振興に関する事業として、弁論大会の開催事業やアイヌ語ラジオ講座の開設事業などがあります。

En la fonduso la taskoj pri disvastigo de la aina lingvo estas la oratora konkurso kaj la radia kurso kaj aliaj.

アイヌ語ラジオ講座は、STV ラジオで日曜と土曜にやっています。リアルオーディオ形式のインターネット放送でも聞けます。

La radia kurso okazas ĉiudimanĉe kaj ĉiusabate el la japana radiostacio STV radio. Vi ankaŭ povas aŭskulti la programon de la reta dissendo per la formo RealAudio.

2007 年 4 月発行のアイヌタイムズ第 41 号では、「北海道エスペラント大会」の記事を書きました。

En n-ro 41 de 'AinuTimes' publikigita en aprilo 2007 mi skribis la artikolon pri 'Hokkajda Kongreso de Esperanto'.

2006 年 9 月 30 日に第 70 回北海道エスペラント大会が開催されました。

La 30an de septembro 2006 en la urbo Sapporo okazis la 70a Hokkajda Kongreso de Esperanto.

エスペランチストは、色々な国の色々な言葉を尊重してますので、二風谷のアイヌである萱野志朗さん

と白老町のアイヌである大須賀さんに、アイヌ語復興の講演を依頼しました。

Esperantisto respektas diversajn lingvojn en la diversaj landoj, tial mi petis la prelegon pri tio, revivigi la ainan lingvon de s-ro KAYANO Siroo (kajano ŝiroo), la aino, el vilaĝo Nibutani kaj de s-ino OOSUGA, la ainino, el la urbeto Ŝiraoi.

アイヌタイムズでは、その概要を述べています。萱野さんは、「アイヌ語を普及させるためには、アイヌ語のための特区を設けたり、アイヌ語を含めた公用語の法律を作るのがよい。」と言いました。

En la gazeto mi skribis la resumon. S-ro KAYANO diris, "Estas bone, ke por disvastigi la ainalingvon oni faru la specialan politikon por la aina lingvo kaj la leĝon de oficiala lingvo enhavanta la aina."

その他に私がアイヌタイムズに投稿したものとしては、東海村臨界事故、有珠山噴火やアイヌ民族が使っていた薬用植物、福島第一原発事故などについての話などがあります。

Krome, miaj artikoloj estas 'La akcidento de nuklea kriza-reago en la vilaĝo Tookai', 'La erupcio de la monto Usuzan', 'La parolo pri la plato por kuracado uzadata de la aina gento', 'La akcidento de la nuklea centralo "Hukuŝima-Daiiĉi"' kaj aliaj.

その他の人の記事では、アイヌ民族関連の行事・ニュースのほか、アイヌとは関係ない社会事象・事件、コラムなど、世の中のさまざまな事象を取り上げています。

La artikoloj de aliuloj estas diversaj aferoj en la mondo kiel eventoj kaj novaĵoj pri aino kaj sociaj aferoj, akcidentoj kaj kolumnoj kaj aliaj.

「アイヌ」は野蛮であるという差別・偏見を持たれ、「日本人」として生きていくしかない状況の中で、「アイヌ」がアイヌ語を教わることを断念させたというような歴史的な経緯を考えると、アイヌ語の復興に対して、日本政府や日本社会が責任を負っているのは明らかであると思います。

Aino suferas de diskriminacio kaj antaŭjuĝo, ke tiu estas sovaĝa, tial tiu ne povas vivi krom kiel japano. En tia situacio aino estas rezignigita lerni la ainan. Laŭ tia historia proceso, estas klare, ke la japana registaro kaj la socio respondecas pri revivigo de la aina.

こういう事業には、アイヌ民族だけでなく、日本人の理解も必要ではないかとも思っています。

Tian aferon ne nur aino devas kompreni, sed ankaŭ japano laŭ mia penso.

皆さんもよくご存じのように、ザメンホフは、ことばが違うものどおしが、互いに引け目を感じることなく、平等の権利を持って、互いに理解できるように、エスペラントという言葉を作りました。

Kiel vi scias, Zamenhofo faras Esperanton por, ke reciproke oni komprenu malsamajn lingvulojn, sen senti sin malsupera, kun egaleca rajto.

また、ザメンホフは、人類の平和のためには、民族が消滅する必要がなく、他民族に不快を与えず、言語や倫理や慣習などのような自民族の特徴を押しつけ合わないような生活様式を見出すことが必要と考えました。そして、自分の民族の集団内部の生活の中では民族言語や民族宗教を保持してもよいが、他民族との関連では、すべて中立な人間的倫理や慣習や生活様式に従うことが必要と考えました。

Kaj Zamenhofo pensis, ke por la paco de homaro ne estas necese, ke la gentoj nepre malaperu, sed estas nur necese, ke ili trovu tian manieron de vivado, kiu permesus al ili forigi siajn eksterajn pikilojn kaj ne altrudi al si reciproke siajn gentajn apartaĵojn kiel la lingvoj, etikoj, moroj kaj aliaj.

Kaj estas necese, ke la homaro aranĝu sian vivon tiamaniere, ke:

konservante sian gentan lingvon kaj gentan riligion en la interna vivo de sia lingvo aŭ religia grupo, la homoj por ĉiuj rilatoj intergentaj uzu lingvon neŭtrale-homan kaj vivu laŭ etiko, moroj kaj vivaranĝoj neŭtrale-homaj laŭ lia penso.

プラハで開かれた世界エスペラント大会の中で、現代のエスペラント使用者の立場を明らかにするために宣言がなされました。

En la Universala Kongreso de Esperanto okazigita en Prago oni deklaris la Manifeston por, ke oni klarigu nunan Esperantista situacio.

この中で「言語上の権利」、「言語の多様性」というものがあります。

En ĝi troviĝas 'lingvaj rajtoj' kaj 'lingva diverseco'.

「言語上の権利」には、要約すると、エスペラントにより言語の間の不平等や紛争に対する解決策を進展させ言語上の権利の保証を目指すということが書かれています。

Resume en la 'lingvaj rajtoj' skiribiĝas, ke laŭ Esperanto oni povas evoluigi aliajn solvojn al la lingva malegaleco kaj lingvaj konfliktoj, tial ni agu por lingvaj rajtoj.

また、「言語の多様性」には、要約すると、言語の多様性は尽くすことのない欠くことができない豊かさの源泉であり、すべての言語はそれ自身すでに価値があるので、エスペラントにより、すべての言語を尊重・支持を基礎とし、言語の多様性を目指すということが書かれています。

Kaj resume en la 'lingva diverseco' skiribiĝas, ke la lingva diverseco estas konstanta kaj nemalhavebla fonto de riĉeco kaj ĉiu lingvo estas valoro jam pro si mem, tial laŭ Esperanto bazante sur respekto al kaj subteno de ĉiuj lingvoj ni agu por lingva diverseco.

皆さんにもう一度、このプラハ宣言の意義を考えていただきたいと思い、日本の小言語であるアイヌ語と沖縄語でプラハ宣言を作りました。

Mi volas, ke vi ree pensu la signifon de la Manifesto, tial mi faras la Manifeston en la malgranda lingvo en Japanio, la aina kaj la okinava lingvo.

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/uk2007/uk2007.htm>

[http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/uk2007/La\\_Manifesto\\_de\\_Prago\\_en\\_la\\_aina\\_kaj\\_la\\_okinava.pdf](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/uk2007/La_Manifesto_de_Prago_en_la_aina_kaj_la_okinava.pdf)

私は、言語の復興事業である「アイヌタイムズ」もこの宣言に関連のあるものと考えており、今後ともこの事業への協力を続けていこうと考えています。

Mi pensas, ke la afero por revivigo de la lingvo, "AinuTimes", rilatas al la Manifesto. Mi daŭrigu la helpon al la afero plie de nun.